



宝木地区公民館だより

宝木っ子まつりの様子 《砂像づくり・魚のつかみ取り》

宝木地区公民館

館長 吉田和行

今年4月1日、各部落区長

様・公民館長様を中心とした公民館運営委員会が開催され、平成28年度地区公民館運営方針が決まり、今日まで滞りなく進められたのも、地区の皆様のご協力ご支援の賜物と心より御礼申し上げます。

日頃より皆様とともに推進してきます、地区公民館活動に關し、昨年末に、大きな動きがありました。

全国より2千人以上の公民館関係者がここ鳥取市に集いました。第37回全国公民館研究集会です。

この場で、先に国が策定した、「第2期教育振興基本計画」の絆づくりと活力あるコミュニティ形成の実現。及び、「街・人・仕事創生法」、いわゆる地方創生の基本的方向性を受け、その策定に至る議論の精神を大いに学び理解を深めるこ

と。

そして、地域にある公民館だからこそ為すべきこと、出来ることを一層具現化し、実践し、絆を深めること。

更には、公民館の社会的役割の認知度を高め、職員力量を高める研修を工夫し、存在感の高揚への取り組みに一層の努力をします。などの大会宣言が採択されました。

公民館に望まれる姿を見据え、少しでもこれら理念を思い、活動して行きたいと考えます。

盛夏の頃、子ども事業として、宝木っ子まつり、わくわく泊り隊が皆様のご協力を得て実施され、夏休みを謳歌する多くの子どもたちの笑顔が見られました。

この折、ケーブルTVの取材があり、宝木地区についていろいろ聞かれ、無形文化財の菖蒲綱など紹介の後、宝木とは、と問われました。

そこで、「宝の木」の駅として切符が話題になった、宝木駅の存在も宝木のアイデンティ

ティです、と紹介しました。

その後、8月のお盆に、なんと60年ぶりに、運動会でも踊っていた、懐かしの「宝木音頭」の歌、踊りが皆さまの熱意をもって復活され、歌い踊られました。

これから「宝木音頭」が宝木地区のアイデンティティに再び加わり、末永く歌い踊り続けられんこと、祈る次第です。

園芸教室に参加させて頂いて

佃 友恵

祖父の亡き後、見様見真似で家庭菜園を始めた頃、公民館の園芸教室に誘って頂きました。

基本的な土づくりや肥料農薬の事を学び、試行錯誤しながら病害虫と苦闘する毎日です。花づくりが好きなものでそれでも楽しみながら続けて来ました。前田指導員さんの成功例失敗例をユーモアを交えながらの講習はいつも楽しみに参加させて頂いています。なかなか



習った様にはいかない事も多い中で雑草と戦いながらの日々です。畑作業も時には辛くなっ

て来た体ですが、植物の生命力の凄さと実りに感謝しながら過ごしております。天候に併せた適切なアドバイスのおかげで収穫の喜びを感じることができ、ご指導の御蔭と感謝しております。今後ともよろしくお願ひ致します。ありがとうございます。

宝木は良い所

岡田 寿晃

環境視察というテーマで原発研修をすることに興味があり、妻も同じ想いであったので、共に申し込んだ。



約3時間弱のバスの旅を終え、島根原子力館に到着した。建物が現代風は当然だが、眼下に見える発電所が3棟、海岸沿いに建設されて、海岸から山道まで自然破壊の状態である。地域活性化に貢献する目的だと思いが、スポーツ広場・公園などもできていた。

館内で説明を聞く前に、水・空気・土地・健康への影響について質問しようと考えていた。使用後の水の海への排水が与える影響について質問したが、「自然界のあらゆる所に微量の放射線は含まれている。そのレベルまで落として排水しているので問題ない」との答弁だった。他の項目にも同様の答弁だろう。原発建設に伴って起きるであろう災害に備えて建てられ

た防災センターも見学した。人々の安全を守るためには必要なんだなと思った。

感想になるが、宝木の近くに原発が来なくてよかった。安心して暮らせる自然環境を保っている宝木は良い地区だと感じた。



DIY教室に参加して

和田 寛子

夏休みも終盤の週末、宿題の進み具合も(非常に)気になりつつも、子どものものづくり体験の1つに、と思い参加してみました。

たくさんの方の参加で賑やかかと思いきや意外にも少人数で、なんとも穏やかな雰囲気の中教室が始まりました。

先生の個別指導もしっかりとあり、充実のものづくりが進んでいきました。ところが木材の長さを測ったり、何本も釘をたたいたり、やすりを丁寧にかいたり等の作業は1年生の息子には退屈だったようで、作業を放り出して遊び始めてしまいました。しかしこれがまた結果オーライ！ではないのですが、主人が黙々と作りあげ、すばらしくやすりのかかった滑らかな木のイスが完成したのです。



完成したイスを見て息子も多少は自分も手をかけたというところもあってか大変満足そうでした。もちろんそ



な気持ちになりました。

今回参加して、とても楽しく充実した時間を過ごさせていただきました。これからも機会をみて、色々な事業に参加させていただきたいと思った1日でした。

これは主人にも同じくそうでした。そんな2人を見て私も言えな

じげ自慢

常松薬師堂 薬師如来坐像

北村 千鶴

毎年、8月10日に薬師堂のお祭り(千日参り)があり、大龍院の住職による読経、村人の沢山のお参りがあります。

この薬師如来坐像は、昭和32年12月25日に鳥取県指定保護文化財に指定されています。

薬師如来は7つの分身をもつ7仏薬師とされ後背に7仏ないしは薬師を除いた6仏の化仏(象生済度のためにあらわれる変化の仏)をあらわすことがあります。

気高町教育委員会によると由来については詳らかでないが「因幡誌」に口碑として次のように行基伝説を載せている。

『・・・当村辻堂の薬師は行基の作と云へり 土人口碑に昔行基諸国巡歴の時当郡に於て一木を以て薬師仏七体を作り郡中所々に寺を建て薬師佛を安置して本尊とす 当所の寺を東福寺と号す是其六番なり然るに中古の乱に諸寺皆頽廢して今各辻堂に安置せり 今に伝えて七仏薬師というは其の故なりと云』



この文章を要約すると、昔、行基菩薩が当地方を訪れた時、1本の力ヤの木から7体の霊像を彫刻し、当地気高郡7ヶ所に寺を建立し、本尊として安置された。当御本尊は、薬師如来第6番として伝えられている。というような事が書いてあります。

常松部落にはこのような大切な文化財があり、先祖代々村人の手により守っています。



宝木っ子まつり

7月24日(日)、今年も船磯海岸にて『宝木っ子まつり』が開催されました。宝木地区公民館・コミネット宝木・宝木ふれまち・各集落子ども会の共催で、約120名の参加者が集まり、チームで「砂像」を作ったり、砂の中のお菓子を見つけ出す「宝探し」をしたり♪そして今回は「魚のつかみ取り」を行い、子どもも大人も楽しい時間を過ごしました。

大人チームも真剣です!



砂像づくり

崩さないようにそ〜っと!そ〜っと!



トトロのヒゲは枝をさして作ってみたよ!



どのヒモにしようかな? ラッキー賞当てたいな!



宝探し

みんながんばれ~



よし!つかまえた!

サマシのつかみ取り

お魚さんまって~



1位 宝木っ子大賞 「ヨッシー」



2位 ふれあい大賞 「トーマス」



3位 コミネット大賞 「アンパンマン」



大人砂像大賞 「スーパーマリオ」

編集後記

第1回広報部の委員会に出席したらどうゆう訳か広報部長になってしまい、色々意見等を言っていたら上期の「公民館だより」の編集後記を部長さんにお願ひしますと意見があり書くことになりました。編集後記に何を言っているかわかりませんが、編集会議のことを書きます。上期の「公民館だより」を見やすく、写真をカラー、フルカラーになど色々な意見がありました。結局予算がないので現状のままです。見やすくして皆様に慕われる「公民館だより」にしていきたいと思ひます。上期の「公民館だより」が出来ました。原稿を寄せて頂いた皆様、事業に参加して下さい皆様ありがとうございます。今後もより皆さんの事業に参加して頂きますようお願いいたします。

第36回 宝木地区文化祭のお知らせ

10月22日(土) (午後:作品展示のみ)
10月23日(日)

勤労者体育館及び宝木地区公民館敷地内において宝木地区文化祭が開催されます。

作品展・芸能発表・フリーマーケット・野菜市など賑やかなイベントに参加して頂ける方、グループを募集中です。お気軽にお問合せください。